

2021年12月1日 第50回研究報告会 佐藤理事長 閉会挨拶

運輸総合研究所理事長の佐藤です。お疲れのところ恐縮ですが、閉会に当たり一言申し上げます。

まず、来賓挨拶をしていただいた藤井国土交通審議官、基調講演をお願いした東京大学の福田先生、コメンテーターを務めていただいた一橋大学の鎌田先生、金沢大学の藤生先生及び芝浦工業大学の岩倉先生、長時間にわたりお付き合いいただいた大勢の視聴者の皆様、そして当研究所の活動をご支援いただいている日本財団に御礼を申し上げます。

特に、「ポストコロナの交通像に関する一私論」と題して基調講演をして下さった福田先生には、日頃より当研究所の研究アドバイザーとしてご指導いただくとともに、当研究所が一丁目一番地と位置付けている「新型コロナウイルス感染症の影響による行動・移動の変容を見据えた公共交通のあり方に関する研究」に地域内交通小委員会座長としてご参画いただいております。この場をお借りして、改めて御礼を申し上げます。

さて、今回の研究報告会も4時間を超える長丁場となりましたが、皆様、いかがでしたでしょうか。ご満足いただけましたでしょうか。

従来の研究報告会では、当研究所の研究員が発表を行うだけでしたが、本年6月に開催した研究報告会では、視聴者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、研究員のそれぞれの発表に対してコメンテーターを設け、研究報告の意義の解説などを行うことにいたしました。

さらに、今回の研究報告会では、研究員のそれぞれの発表について、コメンテーターに加え、当研究所の山内所長及び視聴者の皆様も参加して、討論や質疑応答を行うことにより、研究報告の内容に関する議論の深度化を図ることにいたしました。

研究報告会の開催は今回で50回を数えますが、運輸総研では、今後とも引き続き、常に一步先の運輸・観光を見据えて研究調査を行うとともに、いかにして視聴者の皆様のご理解を深めることができるか、いかにして視聴者の皆様の満足度を高めることができるか、考え続けてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日も研究報告会終了後に視聴者の皆様アンケートを実施いたしますが、ただ今申し上げた観点から、忌憚なきご意見や改善のアイデアをお寄せいただきますよう、お願いいたします。

私からは以上です。この後、今後の予定のお知らせがあります。

本日は、最後までご視聴いただき、誠にありがとうございました。 (以上)